

|  |      |  |  |  |  |    |
|--|------|--|--|--|--|----|
| <b>2026 年度 昭和女子大学 大学院入学試験 2 月期<br/>生活機構研究科 心理学専攻 修士課程 心理学講座<br/>(社会人入試・外国人留学生入試)</b> | 氏名   |  |  |  |  |    |
| <b>「心理学基礎」 問題用紙・解答用紙 (1 / 2)</b>   | 座席番号 |  |  |  |  | 採点 |

問1 次の各項目の文章を読んで、内にあてはまる用語を下の解答欄に記入しなさい。

1. 自分の興味や関心に基づいて生じ、行動それ自体が目的になる動機づけは、①動機づけと呼ばれる。
2. 生体が嫌悪的な刺激にさらされたときに、特定の反応をすることで不快な状態を解消できる場面で、嫌悪刺激の呈示から特定の反応までの潜時が経験により短縮される過程は、②条件づけと呼ばれる。
3. 高齢者虐待防止法で定義された高齢者虐待のうち、本人の合意なしに財産や金銭を使用し、本人が希望する金銭の使用を理由なく制限することを③という。
4. 特定の集団成員に共有される、過度に単純化された、固定的な概念やイメージを④という。
5. 観測された量的データを階級ごとに整理し、横軸に階級を、縦軸に各階級に属するデータの個数をとって図にあらわしたものを⑤という。
6. 現在知覚している場面にはない実在を再現する行動から成り立つ遊びを⑥遊びという。Piaget, J. はこの遊びを「意味するもの」と「意味されるもの」の関係の成立を示す⑥機能の現れとした。
7. 先行刺激の処理が後続刺激の処理を促進あるいは抑制することを⑦という。
8. Rogers, C. R.が提示した、パーソナリティ変化が起こるための必要十分条件の1つである⑧とは、カウンセラーがカウンセリングにおける自分の感情・態度・気分などの流れについて常に鋭敏に感知し自覚している態度を指す。
9. ⑨とは、自己について特定の印象を他者に与えるためになされる行動のことであり、自己に関する印象操作と位置づけられる。
10. ある観測値について、その値より下に全ての観測値の100分のいくつが存在するかを示す相対的位置の指標を、⑩順位という。

**【解答欄】**

|   |   |
|---|---|
| ① | ② |
| ③ | ④ |
| ⑤ | ⑥ |
| ⑦ | ⑧ |
| ⑨ | ⑩ |



|  |      |  |  |  |  |    |
|--|------|--|--|--|--|----|
| <b>2026 年度 昭和女子大学 大学院入学試験 2 月期<br/>生活機構研究科 心理学専攻 修士課程 心理学講座<br/>(社会人入試・外国人留学生入試)</b> | 氏名   |  |  |  |  |    |
| <b>「心理学基礎」 問題用紙・解答用紙 (2 / 2)</b>   | 座席番号 |  |  |  |  | 採点 |

問2 以下の架空の調査とその結果についての記述を読み、相関係数に関する2つの問いに答えなさい。

20代から80代の成人男女500名を対象とした調査において、「1週間あたりの運動時間」「心理的ストレス」「1日のテレビ視聴時間」「主観的なもの忘れの程度」の4つの変数を測定し、変数間の相関係数を算出した。「1週間あたりの運動時間」と「心理的ストレス」の相関係数は  $r = .00$  ( $ns$ )であったが、研究結果を聞いた他の研究者から「(a)相関係数が0であっても、2つの変数が無関連であるとは限らない。散布図を確認する必要がある。」という指摘を受けた。また、「1日のテレビ視聴時間」と「主観的なもの忘れの程度」の相関係数は  $r = .40$  ( $p < .001$ )であったが、これは(b)疑似相関の可能性があると指摘された。

1. 「1週間あたりの運動時間」と「心理的ストレス」の関係を具体例として用いながら、下線部(a)の理由を説明しなさい。

|  |
|--|
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

2. 下線部(b)について、この調査結果を例として説明しなさい。

|  |
|--|
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |



|  |      |  |  |  |  |                   |
|--|------|--|--|--|--|-------------------|
| <b>2026年度 昭和女子大学 大学院入学試験 2月期<br/>生活機構研究科 心理学専攻 修士課程 心理学講座<br/>(社会人入試・外国人留学生入試)</b> | 氏名   |  |  |  |  |                   |
| <b>「心理学専門」 問題用紙 (1 / 1)</b>  | 座席番号 |  |  |  |  | <small>採点</small> |

問 以下の4問のうち、2問を選択して解答しなさい。解答は、別紙の解答用紙(「心理学専門」 解答用紙1/2と2/2)にそれぞれ書きなさい。

1. 視覚・聴覚・触覚等の感覚モダリティ間の相互作用を示すクロス・モダリティ現象(または効果)の例を挙げて具体的に説明し、そのような現象について心理学的に解明する意義を述べなさい。
2. 対人関係の進展過程について、「役割の相補性」「態度の類似性」「単純接触効果」の3つの用語を用いて説明しなさい。
3. 乳児を対象とした実験法の一つである「馴化-脱馴化法」について、具体例を挙げて説明しなさい。
4. 自助グループ(セルフヘルプ・グループ)とは何か、具体例を挙げて説明しなさい。また、自助グループが有用とされる理由を述べなさい。



